

Handwritten calligraphy on a brown paper cover. The central characters are '浙東' (Zhedong). To the left, there is a vertical inscription: '天一閣藏' (Collection of Tianyige). To the right, there is another vertical inscription: '卷之十' (Volume 10). The text is written in a cursive style.

13
2947
19



19
2947
19

しんしん
源
林
長

源
教
青
人

曾家糖袋叙



唐洲
か
ふ
人
を
作
せ
し

這
簡
乃
草
臺
が
関
る
ふ

建
久
の
昔
曾
家
の
曹
司
ふ

あ
ま
き
ま
る
ふ
の
序
が
あ
ら
は
す

如^に今^の殿^の原^の年^の 以^て必^ず其^の親^を
散^ら葉^を年^の比^に 一^つ子^を指^すや^らる^る
佳^し言^の素^く貞^く情^の濃^くホ^シ 一^つの^り
殆^ど妙^くあり。 悠^く地^の一^つ簡^のふ^り五^つ
衝^つ帖^の帖^の 傾^く傾^く乃^の言^の語^の

自序

物^の心^の唇^のを^もて^て 一^つ句^をと^りて^て 妙^く
あ^の心^の口^の 一^つ條^を乃^の風^をあ^のる^ると^りて^て
妙^く考^へる^る年^の 慎^んつ^て其^の色^のの^り道^{あり}。
玄^く宗^の白^く帝^のも。 天^の年^のあ^のる^るは^の母^の美^く堂^の道^{あり}
乃^の心^のを^もて^て 漢^の乃^の武^の帝^のの^り

十日法若おつげ 隣あめよあめとあめなる法あめらあめひあめ

そとむさあめひあめ先あめ法あめ辻あめ番あめぐあめ夢あめとあめ

知あめまあめるあめもあめまあめ戀あめのあめまあめしあめ。 御あめりあめとあめりあめ

五あめ明あめ法あめ義あめ解あめ。 雖あめ舌あめ法あめ難あめ在あめ松あめ葉あめ

忠あめ瀬あめ川あめ青あめ々あめ原あめのあめもあめやあめ中あめああめとあめ法あめをあめ

中あめのあめ乃あめらあめらあめるあめ中あめ 梳あめ美あめのあめ顔あめ列あめしあめ

恐あめのあめ牒あめらあめああめ濫あめがあめ如あめしあめ。 須あめ

紙あめ道あめ法あめ豪あめ傑あめ。 紙あめ書あめをあめ等あめ

閑あめ年あめせあめばあめ寶あめ乃あめ山あめのあめ手あめ心あめ

昔あめのあめ法あめ若あめくあめ先あめ年あめ等あめのあめ法あめ也あめ。

苟あめ堅あめ形あめ法あめ志あめ母あめ等あめ心あめ

政索せいさく——しん傾かたむ城しろのま庭にわを
 ありて鬼王おにおうが諫言けんげん既すで乎
 やんぬやんぬ

山東京傳誌



廓くわくはあ文ぶん孝こう。踏ふみ出だ——つ禱たうのあ祈いのち
 祈いのちはあ心こころをあ情なさけとあいい。聖せい中ちゆう
 一滴いつてつのあ洞どうのあ流りゅうをあ時ときをあ中ちゆうをあ空そら乃なり
 其その願ねがひ中ちゆうも。魯ろ國こくのあ祖そ父ふ也なりも
 以もつつと心こころをあ動うごかせばあ冊さつ也なり我われも
 昔むかしをあ信しん因いん乃なり根ね。今いまをあ述しよしめ。心こころ

雲晴く。其如の月身まゐ酔よも醒さし
ままくくししささつつれれとと作しるるののちちとと魚うままづづり
ああくくたた一一冊冊ははるるるる象しやう新しん甫ふとと新しんで
ささくくささくくはは鼻はなははええははららししととああららい
おおののままままままああつつののまま

申まを乃の春の

唐洲述



曾我謙良

唐洲著述

年ねんくく歳さい曾そう我が謙けん良りやう故こ向かうかかららぬぬ春はるふふ。
兄あに牙が緒おとととと款くわん工こう藤とうとと討たう解げ人にん
心こころ願ねがわわくく。東とう都とふふああららぬぬ鎌かま倉くらふふ。
老らう若わく男おとこ女をんな解げ繁はん榮えいのの利り現げん好こうちち子こををああららししむむ。
がが園えんをを寸すんハハ分ぶん法ぽうハハ幡ばん宮きやう。奥おく山さんのの風ふう象しやう
世よふふすすくく形かたち。宙ちゆうとと飛とぶぶ源げんののううららががここののままをを。
帝ていははぬぬがが月げつ身み這たいたい這たいたい蹴くがが弁べん舌ぜつ水すいのの如ごとく

あし。見物の山をりし。貴賤様

其の中

祿威いまは五つ。きりぎりすの羽のさう。ここあそびの大小。時字は後羽さうふかまの羽ゆ。小豆葉のさう。きりぎりすもきりぎりす。連く。羽のさう。きりぎりす。ゆきゆきの山の方より裏門の方より。むうへう。朝はまふ。おりのさう。みおりの小を。さう。さんもの帯。さう。きりぎりす。天地全のさう。まらけりさう。

羽 ころ。袷さんどけ**袷** 乃あそびさうのさう。

さしあそびさう。とまきりぎりす。あし。このさう。

時 朝さんゆき。しんさうゆき。朝時さんゆき。

あそびさう。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。ゆき。

胡えよあをそあもあきなり。ちとらと中の阿でのいそ
りあか**胡**ひつちもあきなり。古もいそりもあきなり。

祐さああ**胡**ひつちもあきなり。古もいそりもあきなり。今夜帰らるる

く古もいそり**胡**夜もあきなり。胡のやのらあきなり。

松そあきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。

あきなり。今夜帰らるる。今**胡**ひつちもあきなり。今夜帰らるる。



くまの
磨玉

くまの
磨玉

四

むらさき 豊後
にたかひや 豊後

結るんがうなまの申こ 結 豊をきくと

まこつ 結 さあつてごごるまに 結 けけ 後をぬりぬり

酒 乃も 向 結 豊梅さんや 結 梅さんが 来たてぬ

まこつ 時 今 さあつて 結 さあつて 豊 豊ふあつてけ 結

豊 豊さんも 結 さあつてごごるまに 結 さあつてけ 結

結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

今らり 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

ノウ 豊 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

いせ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

あま氏 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

てあ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

のわつが 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

いあ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

あま 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結 さあつてけ 結

再稼アベン
少り

二方の産た三方のひん。あざの物あるをよめよ通入。あざの
てそのていとき。知し。三人やどあく大いあり。十并期ひあは屋花
わしりあまやひり。時あはあまを別し。て。むらうこの
三かんもふ。あまをいつく。のけし。の女 **ゆと時え**
よめあまのう。ゆし。 モハカハ向キ 時えんが出なうり

まし。 とひひあま。時あがたふ。さうり。さうり。ひあうけあまの
はひあま。あまのひあま。さうり。さうり。さうり。さうり。

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

あまのあま あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま **あまのあま** あまのあま

いーはせせよ **時** ころころいーひのがきよ **要** ねむい **わ** こ

まうまう ナ節めくまあま 平のあまふ付 廿九のハハ 舞の ときこめて 朝ひなとく 春のり 月でいり 三時せん

のたこ まゐんたんの男 **あ** せ **あ** せ **あ** せ **朝**

ハムフ まゐんたんの男 **あ** せ **あ** せ **あ** せ **朝**

ど人のころ **し** 事 **と** 抄 **り** 志 **中** まゐんたんの男 **あ** せ **あ** せ **あ** せ **朝**

祐え **く** ね **あ** せ **あ** せ **あ** せ **朝**

し **く** ね **あ** せ **あ** せ **あ** せ **朝**

のり **て** 目 **と** 抄 **り** 志 **中** まゐんたんの男 **あ** せ **あ** せ **あ** せ **朝**

二階よりいふ **村** **分** **社** **え** **い** **つ** **と** **ま** **い** **づ** **ぐ** **ご** **ん** **ご** **ご** **よ**

社 **抄** **え** **い** **つ** **と** **ま** **い** **づ** **ぐ** **ご** **ん** **ご** **ご** **よ**

ごん **ご** **ご** **よ** **ご** **ご** **よ** **ご** **ご** **よ** **ご** **ご** **よ**

あ **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま**

あ **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま**

朝 **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま**

の **中** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま**

あ **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま** **あ** **ま**

おのゝ家

上

Handwritten text on the right page, including a circular stamp at the top. The text is written in a cursive style with several boxed words.

Handwritten text on the right page, including a circular stamp at the top. The text is written in a cursive style with several boxed words.

Handwritten text on the left page, enclosed in a rectangular border. The text is written in a cursive style with several boxed words.

Handwritten text on the left page, enclosed in a rectangular border. The text is written in a cursive style with several boxed words.

むしむ六中の節で時家よ進つてあつた。その後まゝに
一室せり一室あり。時家がのろのぶらふ死ぬわいのとき
まじりてこの目のせりくが罪があつた。
はあつてくわんと母のひまひつて

なす。時家うまぞ。時。この六母のん何とあせりま

奏時えぞうぞくわらぶ新しきまで母えなん

時母のんくわらぶぶぞうくわらぶ。母う

母けなす。母まは。奏。くわらぶ。母まは。母

みうくわらぶ。母まは。母まは。母まは。母まは。

て母のん。母。一丁目て母のん。母のん。

くわらぶ。母まは。母まは。母まは。母まは。

奏時えぞうぞくわらぶ。母まは。母まは。母まは。

母のん。母まは。母まは。母まは。母まは。

くわらぶ。母まは。母まは。母まは。母まは。

奏時えぞうぞくわらぶ。母まは。母まは。母まは。

母のん。母まは。母まは。母まは。母まは。

くわらぶ。母まは。母まは。母まは。母まは。

奏時えぞうぞくわらぶ。母まは。母まは。母まは。

の...
 町...
 さん...
 町...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

ぶらんまに 鈴 かなんぞとくまよ かつありく
 母よーなんー ぞとてぶらんまよ 朔 死ぶとる
 のこ 張新の味 志あちううあさあふとと しのこ 夏
 思くこしあふとあふ。こまや 碎やせぬふあま
 ぐあやくと 法 夏の月かきやうと 湖ひき 後前止
 うねよつり。こまひくさうと 母さうば。くぐり 戸
 と 押くふ。と 母さうば。くぐり 戸
 ぐらうと。かの 呉又がりつきの 海ふまご 明く
 こそぬ夜なれぬ。あまふうらまは 浜巾ふ志の

づん 舟ハ眉ふ 柳くかのがわらぐせとあし出。
 故ハ道ふこつさうふく。こ屋の 張声しつ 柳
 夢りうさくの 春のあまふの

白雲齋

待 新妓婦志 唐洲述 全 近刻

通油町 鶯屋重三郎版



東山詩集
東山詩集
東山詩集